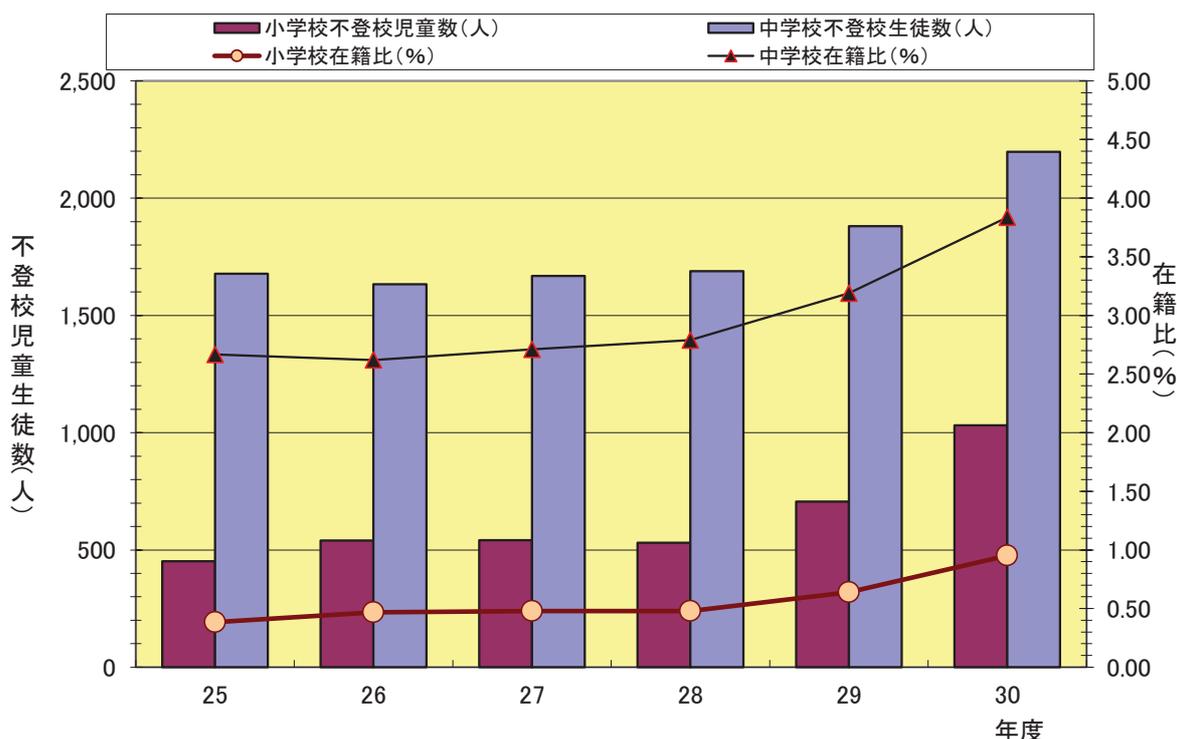


1 不登校児童生徒数及び在籍比の推移

「不登校児童生徒」は人数および在籍比ともに増加
 ・小学校は1,032人で、前年度から326人（46%）増加。在籍比は0.95%で、前年度から0.31ポイント増加した。
 ・中学校は2,197人で、前年度から316人（17%）増加。在籍比は3.84%で、前年度から0.65ポイント増加した。



年 度		25	26	27	28	29	30	
小学校	人数(人)	452	540	541	530	706	1,032	
	前年度増減(人)	56	88	1	▲11	176	326	
	在籍比	県(%)	0.38	0.47	0.48	0.48	0.64	0.95
	全国(%)	0.36	0.39	0.42	0.47	0.54	0.70	
中学校	人数(人)	1,678	1,633	1,668	1,689	1,881	2,197	
	前年度増減(人)	28	▲45	35	21	192	316	
	在籍比	県(%)	2.67	2.62	2.71	2.79	3.19	3.84
	全国(%)	2.69	2.76	2.83	3.01	3.25	3.65	
合計	人数(人)	2,130	2,173	2,209	2,219	2,587	3,229	
	前年度増減(人)	84	43	36	10	368	642	
	在籍比	県(%)	1.18	1.22	1.26	1.29	1.53	1.95
	全国(%)	1.17	1.21	1.26	1.35	1.47	1.69	
高等学校	人数(人)	674	664	703	687	648	660	
	前年度増減(人)	▲27	▲10	39	▲16	▲39	12	
	在籍比	県(%)	1.14	1.12	1.19	1.17	1.11	1.15
	全国(%)	1.67	1.59	1.49	1.46	1.51	1.63	

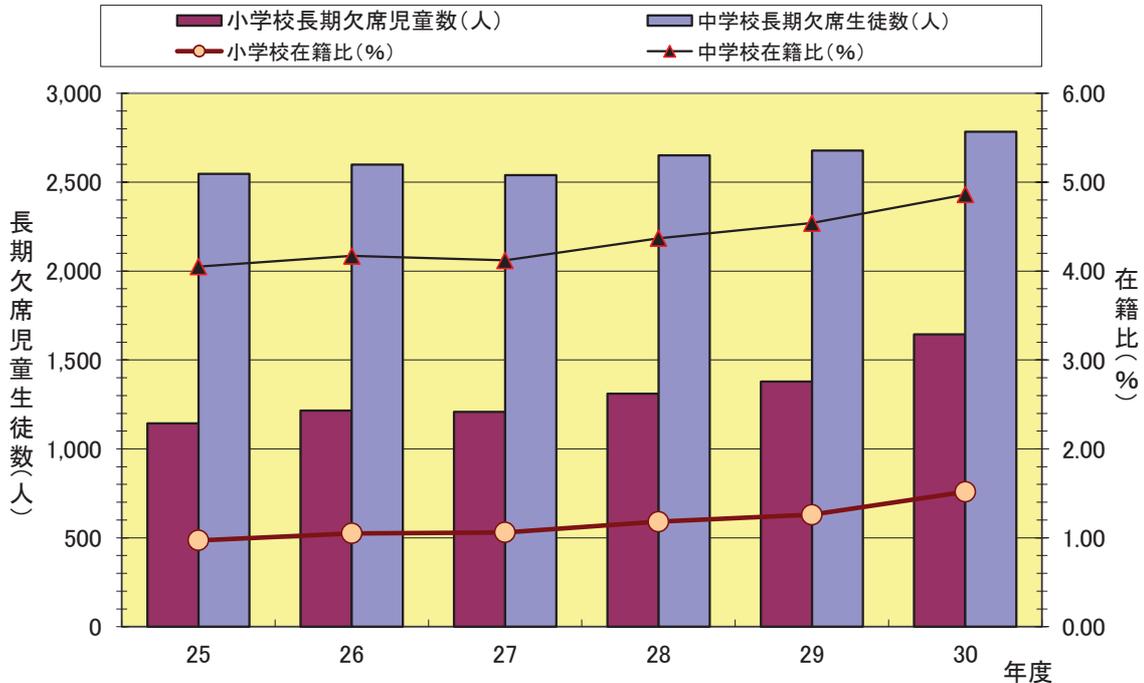
(注) 1 調査名：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

2 調査対象：県内国公私立・小中高等学校674校

2 長期欠席(年間30日以上欠席)児童生徒数及び在籍比の推移

「長期欠席の児童生徒」は人数および在籍比ともに増加

- ・小学校1,645人で、前年度から267人(19%)増加。在籍比は1.52%で、前年度から0.26ポイント増加した。
- ・中学校2,783人で、前年度から105人(4%)増加。在籍比は4.86%で、前年度から0.32ポイント増加した。



年 度		25	26	27	28	29	30	
小学校	人数(人)	1,144	1,215	1,208	1,311	1,378	1,645	
	前年度増減(人)	45	71	▲7	103	67	267	
	内 訳	病気			259	275	274	276
		経済的理由			0	0	0	0
		不登校	452	540	541	530	706	1,032
		その他			408	506	398	337
	在籍比	県(%)	0.97	1.05	1.06	1.18	1.26	1.52
		全国(%)	0.83	0.88	0.96	1.03	1.12	1.30
中学校	人数(人)	2,547	2,598	2,539	2,651	2,678	2,783	
	前年度増減(人)	135	51	▲59	112	27	105	
	内 訳	病気			440	429	483	439
		経済的理由			1	0	0	0
		不登校	1,678	1,633	1,668	1,689	1,881	2,197
		その他			430	533	314	147
	在籍比	県(%)	4.05	4.17	4.12	4.37	4.54	4.86
		全国(%)	3.55	3.61	3.79	4.06	4.31	4.76

(注) 1 調査名：文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

：長野県調査「長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

2 調査対象：県内国公立・小中学校567校

3 不登校児童生徒の欠席状況

(1) 90日以上欠席している不登校児童生徒及び欠席日数別構成比

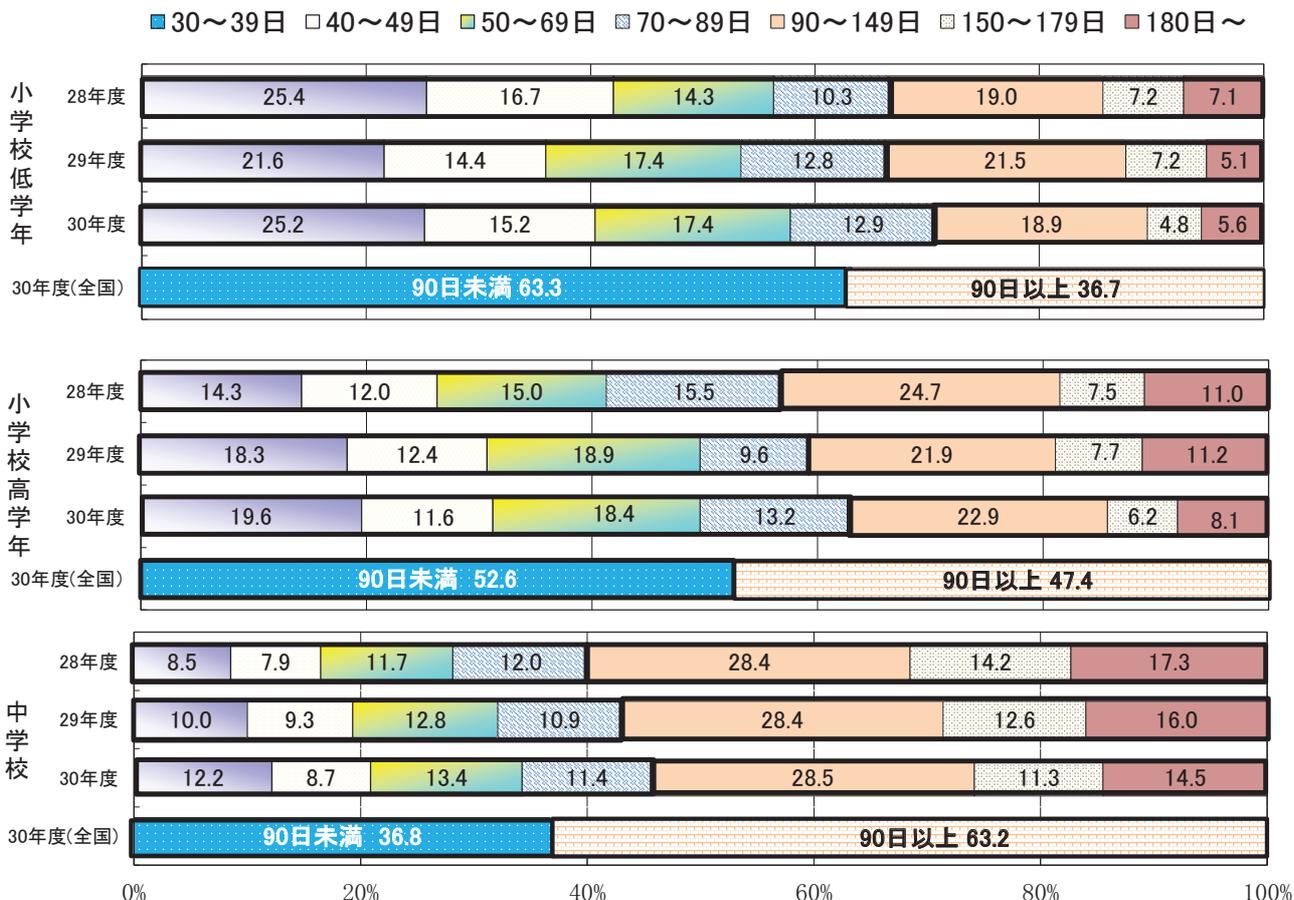
不登校児童生徒のうち、90日以上欠席している者の割合は、小学校・中学校ともに全国の割合に比べ低い。また、90日以上欠席している者の欠席日数別構成比は、年度を追って減少傾向にある。

(国公立・小中学校)

		不登校(D)	A うち、90日以上 欠席している者		
			B うち、出席日数が 10日以下の者		C うち、出席日数が 0日の者
小学校	県人数(人)	1,032	360	50	19
	県割合(%)		34.9%	4.8%	1.8%
	全国割合(%)		44.7%	7.0%	2.6%
中学校	県人数(人)	2,197	1,194	173	56
	県割合(%)		54.3%	7.9%	2.5%
	全国割合(%)		63.2%	12.9%	4.1%
小中合計	県人数(人)	3,229	1,554	223	75
	県割合(%)		48.1%	6.9%	2.3%
	全国割合(%)		58.2%	11.3%	3.7%

(注) 割合(%)は、不登校(D)に対するA~Cの割合。[A/D(%)、B/D(%)、C/D(%)]

欠席日数別構成比(平成28年度~30年度 公立)



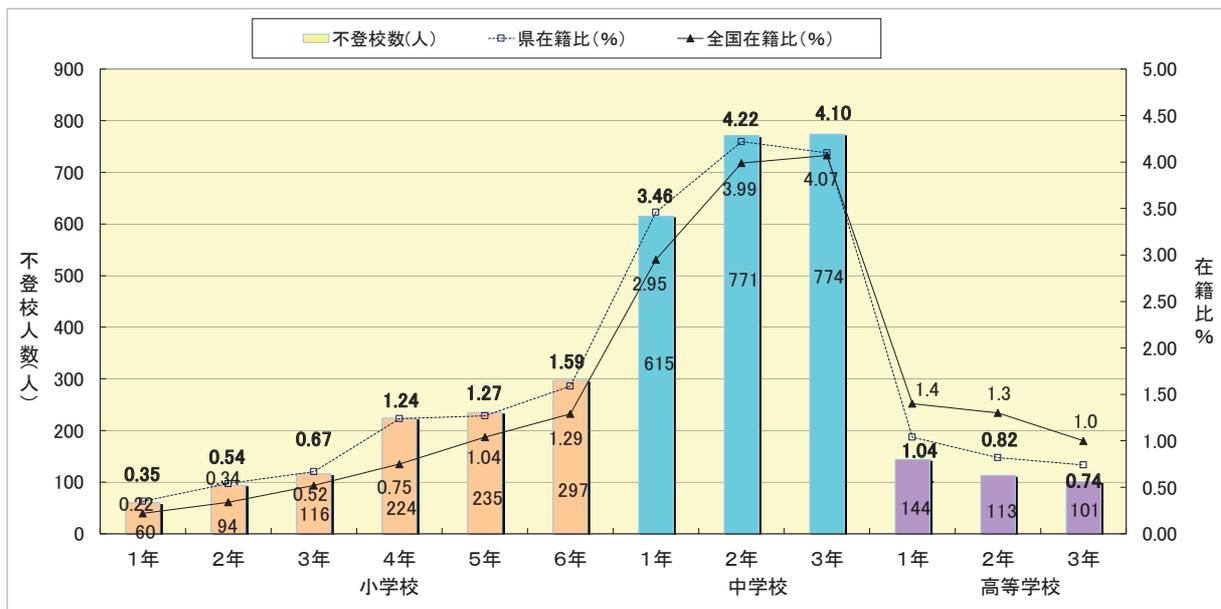
(注) 1 調査名：長野県調査「平成30年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」

文部科学省調査「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

2 全国のグラフは国公立を合わせた値

(2) 校種別学年別不登校児童生徒数と在籍比及び継続・新規不登校児童生徒数（公立）

学年別不登校児童生徒の在籍比は、全国に比べ、特に小学校4年生、中学校1年生で高くなっている。



学年別継続・新規不登校児童生徒数

平成30年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学年別不登校児童生徒数	60	94	116	224	235	297	615	771	774
継続不登校児童生徒数	-	35	46	106	113	158	195	423	564
新たな不登校児童生徒数	60	59	70	118	122	139	420	348	210

- (注) 1 調査名:長野県調査「平成30年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間調査①)」、「平成30年度生徒在籍動向等調査」その③
 2 調査対象:県内公立小中高등학교649校 高等学校の4年生、単位制の人数は除く
 3 全国に籍比:文部科学省調査「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

4 不登校の要因

(1) 小学校（公立）

小学校の不登校の要因は、全国に比べ、特に「学業の不振」の割合が高い。

学校、家庭に係る要因 〔複数回答〕		分割 別人数 (人)	学校に係る状況							家庭に係る状況	左記に該当なし	
			いじめ	友人関係 に関する 問題を 除く	教職員 との 関係	学業の 不振	安 進 路 に 係 る 不	適 応 活 動 へ の 関 与 不	課 外 活 動 の 関 与 不			学 校 に 関 する 不 適 切 な 行 動
本人に係る要因	分類別人数(人) 割合(%)	1026 (100)	11 (1.1)	266 (25.9)	44 (4.3)	288 (28.1)	31 (3.0)	5 (0.5)	17 (1.7)	68 (6.6)	587 (57.2)	108 (10.5)
本人に係る要因	「学校における人間関係」に課題を抱えている	158 (15.4)	7	118	22	25	4	1	4	9	40	4
	「あそび・非行」の傾向がある	5 (0.5)		1		1					4	
	「無気力」の傾向がある	250 (24.4)		24	4	111	8	1	4	9	188	21
	「不安」の傾向がある	451 (44.0)	4	114	13	130	17	3	7	42	234	56
	「その他」	162 (15.8)		9	5	21	2		2	8	121	27
平成29年度分類別人数(人) 割合(%)		703	5 (0.7)	162 (23.0)	30 (4.3)	245 (34.9)	12 (1.7)	1 (0.1)	18 (2.6)	55 (7.8)	430 (61.2)	64 (9.1)
(参考) 全国割合(%)			(0.8)	(21.7)	(4.5)	(15.2)	(1.1)	(0.2)	(2.6)	(4.5)	(55.5)	(13.7)

(2) 中学校 (公立)

中学校の不登校の要因は、全国に比べ、特に「学業の不振」および「進路に係る不安」の割合が高い。

[単位:人、%]

学校、家庭に係る要因 〔複数回答〕	本人に係る要因	分割 別人数 (人)	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	ぐ友い る人 間関 係を 除め く	題係教 を職 員と の問 関	学業 の 不 振	安進 路に 係る 不	適部 活動 への 不	ク ラ ブ 活 動 の 不	題等 を校 め ぐ る ま り		
分類別人数(人) 割合(%)	2,160 (100)	18 (0.8)	689 (31.9)	66 (3.1)	949 (43.9)	226 (10.5)	75 (3.5)	41 (1.9)	213 (9.9)	796 (36.9)	177 (8.2)	
本人に係る要因	「学校における人間関係」に課題を抱えている	327 (15.1)	5	267	33	89	11	17	11	23	76	7
	「あそび・非行」の傾向がある	42 (1.9)		5	2	24			6	2	29	3
	「無気力」の傾向がある	711 (32.9)	2	107	10	411	73	21	12	49	332	66
	「不安」の傾向がある	887 (41.1)	6	290	18	391	123	35	9	120	247	75
	「その他」	193 (8.9)	5	20	3	34	19	2	3	19	112	26
平成29年度分類別人数(人) 割合(%)	1,853	5 (0.3)	556 (30.0)	47 (2.5)	762 (41.1)	167 (9.0)	71 (3.8)	42 (2.3)	181 (9.8)	759 (41.0)	151 (8.1)	
(参考) 全国 割合(%)		(0.6)	(30.1)	(2.5)	(24.0)	(5.3)	(2.7)	(3.4)	(7.7)	(30.9)	(13.4)	

(3) 高等学校 (公立)

高等学校の不登校の要因は、全国に比べ、特に「学業の不振」および「進路に係る不安」の割合が高い。

[単位:人、%]

学校、家庭に係る要因 〔複数回答〕	本人に係る要因	分割 別人数 (人)	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	ぐ友い る人 間関 係を 除め く	題係教 を職 員と の問 関	学業 の 不 振	安進 路に 係る 不	適部 活動 への 不	ク ラ ブ 活 動 の 不	題等 を校 め ぐ る ま り		
分類別人数(人) 割合(%)	526 (100)	3 (0.6)	127 (24.1)	15 (2.9)	146 (27.8)	111 (21.1)	18 (3.4)	13 (2.5)	56 (10.6)	102 (19.4)	133 (25.3)	
本人に係る要因	「学校における人間関係」に課題を抱えている	110 (20.9)	3	87	6	15	11	5	5	7	6	5
	「あそび・非行」の傾向がある	21 (4.0)		1	1	6	4	1	4	4	10	3
	「無気力」の傾向がある	144 (27.4)		14	5	53	24	3	2	15	29	47
	「不安」の傾向がある	183 (34.8)		22	3	63	64	9	1	18	48	41
	「その他」	68 (12.9)		3		9	8		1	12	9	37
平成29年度分類別人数(人) 割合(%)	506	2 (0.4)	116 (22.9)	5 (1.0)	136 (26.9)	99 (19.6)	20 (4.0)	17 (3.4)	46 (9.1)	108 (21.3)	120 (23.7)	
(参考) 全国 割合(%)		(0.4)	(17.5)	(1.2)	(17.9)	(8.9)	(1.7)	(4.1)	(13.6)	(15.3)	(29.0)	

[注]1 調査名:長野県調査「平成30年度長期欠席児童生徒の状況報告書(年間)調査①」、「平成30年度生徒在籍動向等調査」その③

2 調査対象:県内公立小中高等学校649校

3「学校、家庭に係る要因(区分)」については複数回答。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」よりすべて選択。

なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は「左記に該当なし」を選択。

5 課題と取組の方向性

総合教育会議（令和元年10月11日開催）

「学校に行きたくない・行くことができない子どもたちへの支援について」をテーマに協議

<現状>

- 不登校児童生徒在籍比率は、一時減少傾向にあったものの、継続的に増加
- フリースクール等民間施設を利用する子どもが増加

<問題意識>

- これまでの不登校対策は何か根本的に違っていたのではないか？
- 学校以外の多様な学びの場への支援が不十分なのではないか？

<今後の方向性> 現状等と問題意識をもとに議論し、以下の方向性で取り組むことを共有

- (1) 科学的知見を活用した取組を含め、学校そのものを変えていく必要がある。
- (2) 子どもたちの社会的自立を目指し、学校以外の多様な学びの場と連携した取組が必要である。

本調査の結果

不登校児童生徒数及び在籍比は、前年度に比べ、大幅に増加（小学校：326人、中学校：316人増加）。在籍比は小・中学校ともに全国より高い。

総合教育会議と本調査の結果を踏まえ
不登校に係る課題解決のための取組を抜本的に見直す。

すべての子どもたちに自分らしく学べる場を保障するためには

学校そのものにかえる

学校以外の学びの場をつくる

<具体化に向けたプロセス>

月	基本方針策定に向けて	具体的取組の検討	
令元 11月	第1回策定委員会 (課題共有、取組等提案、基本方針案、スケジュール)	○ 共有された課題を踏まえ、既存の取組の見直しと新たな取組の構築	
↓	↔	↓	
12月	第2回策定委員会 (中間取りまとめ案検討)		民間団体・学校関係者等 意見交換会
↓	↓		
3月	第3回策定委員会 (基本方針取りまとめ)		

〔資料〕 市郡別不登校児童生徒数在籍比の推移及び30年度長期欠席者数在籍比

28年度調査までは欠席理由が二つ以上ある（例えば「病気」と「不登校」）者は、長期欠席の区分「その他」に分類したが、29年度調査から、欠席理由が二つ以上ある場合、主な理由を一つ選び、「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」（家庭の事情等）のいずれかに分類するよう変更になった。

心の支援課

小学校 市郡別										中学校 市郡別									
番号	年度	不登校						長期欠席		番号	年度	不登校						長期欠席	
		28年度		29年度		30年度		30年度				28年度		29年度		30年度		30年度	
		人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)			人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)	人数 (人)	在籍比 (%)
1	小諸市	7	0.31	12	0.54	21	0.98	46	2.14	1	小諸市	44	3.87	53	4.82	56	5.32	68	6.46
2	佐久市	32	0.61	40	0.76	51	0.97	62	1.18	2	佐久市	56	2.07	96	3.61	138	5.33	150	5.79
3	上田市	41	0.49	35	0.43	94	1.16	120	1.48	3	上田市	131	3.01	128	2.99	179	4.26	207	4.92
4	東御市	4	0.25	5	0.31	12	0.75	20	1.25	4	東御市	28	3.19	25	2.94	41	5.06	44	5.43
5	伊那市	10	0.26	14	0.37	26	0.71	53	1.45	5	伊那市	41	1.99	53	2.60	56	2.80	84	4.20
6	駒ヶ根市	2	0.11	4	0.23	13	0.74	20	1.14	6	駒ヶ根市	33	3.25	31	3.19	43	4.51	61	6.40
7	岡谷市	2	0.07	13	0.50	11	0.44	33	1.33	7	岡谷市	9	0.67	37	2.83	45	3.68	68	5.56
8	諏訪市	9	0.35	8	0.31	14	0.55	47	1.86	8	諏訪市	24	1.81	16	1.27	35	2.83	86	6.95
9	茅野市	1	0.03	21	0.70	39	1.31	83	2.78	9	茅野市	8	0.49	59	3.69	53	3.48	68	4.46
10	飯田市	33	0.59	34	0.62	42	0.76	94	1.71	10	飯田市	92	3.05	88	3.02	83	2.97	140	5.01
11	松本市	87	0.68	121	0.96	159	1.27	214	1.71	11	松本市	242	3.95	258	4.34	279	4.76	335	5.72
12	塩尻市	28	0.82	20	0.58	28	0.84	59	1.77	12	塩尻市	57	3.16	45	2.57	81	4.69	93	5.39
13	大町市	7	0.57	12	1.03	14	1.22	28	2.44	13	大町市	29	3.78	44	5.99	31	4.54	41	6.00
14	安曇野市	28	0.55	33	0.66	42	0.84	78	1.57	14	安曇野市	72	2.55	76	2.78	100	3.81	119	4.53
15	長野市	75	0.38	139	0.71	176	0.91	245	1.27	15	長野市	285	2.85	312	3.17	373	3.96	440	4.68
16	須坂市	9	0.33	17	0.63	30	1.11	40	1.48	16	須坂市	42	2.82	40	2.93	42	3.20	53	4.04
17	中野市	6	0.26	12	0.52	20	0.87	35	1.52	17	中野市	42	3.15	41	3.27	57	4.92	63	5.44
18	飯山市	8	0.80	3	0.31	6	0.64	8	0.86	18	飯山市	6	1.05	11	2.05	16	2.91	16	2.91
19	千曲市	16	0.52	17	0.57	20	0.68	24	0.82	19	千曲市	50	2.89	61	3.64	58	3.55	69	4.22
20	南佐久郡	4	0.36	9	0.81	20	1.80	25	2.25	20	南佐久郡	11	2.20	3	0.66	4	0.91	15	3.42
21	北佐久郡	16	0.72	20	0.91	22	1.03	50	2.35	21	北佐久郡	39	3.62	47	4.41	34	3.29	53	5.14
22	小県郡	1	0.20	1	0.21	3	0.65	6	1.29	22	小県郡	2	1.48	(非公表)					
23	上伊那郡	27	0.58	25	0.54	39	0.84	53	1.15	23	上伊那郡	85	3.52	75	3.18	79	3.42	93	4.02
24	諏訪郡	12	0.54	18	0.83	25	1.19	38	1.81	24	諏訪郡	27	2.47	41	3.83	37	3.40	59	5.43
25	下伊那郡	26	0.78	31	0.95	40	1.24	57	1.77	25	下伊那郡	59	3.20	72	3.99	84	4.69	97	5.42
26	東筑摩郡	4	0.38	4	0.38	7	0.68	14	1.37	26	東筑摩郡	3	3.06	4	4.30	4	3.92	4	3.92
27	木曾郡	11	0.93	9	0.78	12	1.08	12	1.08	27	木曾郡	24	3.82	30	4.77	38	6.10	41	6.58
28	北安曇郡	7	0.46	12	0.82	16	1.10	29	1.98	28	北安曇郡	20	2.25	16	1.91	23	2.96	33	4.25
29	埴科郡	1	0.13	3	0.40	4	0.54	6	0.81	29	埴科郡	(非公表)							
30	上高井郡	4	0.39	3	0.31	4	0.40	4	0.40	30	上高井郡	7	1.34	11	2.14	13	2.56	15	2.95
31	下高井郡	1	0.11	2	0.23	6	0.72	12	1.44	31	下高井郡	14	2.64	13	2.66	12	2.55	19	4.03
32	上水内郡	7	0.73	6	0.63	9	0.96	18	1.92	32	上水内郡	17	3.13	12	2.32	17	3.59	24	5.06
33	下水内郡	(非公表)								33	下水内郡	(非公表)							
長野県		530	0.48	706	0.64	1,032	0.95	1,645	1.52	長野県		1,689	2.79	1,881	3.19	2,197	3.84	2,783	4.86
全国在籍比 (%)		0.47	0.54	0.70	1.30	全国在籍比 (%)		3.01	3.25	3.65	4.76								

※調査名：長野県調査「平成30年度長期欠席児童生徒の状況報告書（年間）調査①」
 ※平成31年4月1日現在の市町村の区割りとする。
 ※市郡別数値は、組合立学校及び県立中学校、国立・私立を除く。
 ※長野県数値は、国立・私立を含む。